（様式１）学校エコ活動シート

年　度：令和5年度
学校名：茅ヶ崎市立赤羽根中学校

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	I年を振り返って
環境についての学習	地域環境や地球環境に関わる基礎を学習し、自然の美しさ、環境の大切さ、環境の保全についての考えや心情を育む。	I	学校周辺の自然について、身近な動植物の存在を知る。（理科）	I年理科教諭	I年生	・I年生は学校の敷地内の植物を調べ、観察、実験を通して、植物の生活と種類について学習し認識を深めた。 ・2年生は気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性の認識を深める学習の中で、降水のしくみについての学びから地球温暖化等、環境に関する考察を行った。 ・保健体育や家庭科の授業を通して、空気・生活排水・ゴミ処理について、自分たちの生活で実践できることを考え、理解を深めた。 ・3年生は自然環境を調べ、自然と人間の関わり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に思考し、生徒自身が自然災害等との関わり方を考え、危機意識を高めた。	【取組の評価】☐達成できた　☑ほぼ達成した　☐達成できなかった 【理由】 各学年の状況に応じて、自然の様々な分野について学び、人間の生活と密接な関係に気づき、現在起こっていることに自分事として捉えて、考えることができた。 【今後の課題】 生徒達の多様なアイディアを具体的に実践につなげていくこと。 【次年度への引継ぎ事項】 ・各教科の授業内容を共有し、環境学習をすすめていく。
		2	雨が降るしくみを基に、水資源の循環について考える。（理科）	2年理科教諭	2年生		
		3	空気、水の保全や生活排水、ゴミ処理について考える。（保健体育）	2年保健体育教諭	2年生		
		4	自然の恩恵や自然災害について、自然界に人間が正しく関わることの大切さを知る。（理科）	3年理科教諭	3年生		
電気、水、物を大切に使う活動	電気、水、物を大切にすることについて、生徒会を生かして呼びかけることにより、エネルギーと資源の大切さを学ぶと共に生徒の主体性や自治を育む	I	電力消費を抑えるため、照明のこまめな消灯やエアコンの温度設定について呼びかける。	生徒会担当教諭 生徒会本部役員	全学年	・節電・節水については、積極的にすすめられなかった。コロナ禍の制約が解除されたとはいえ、感染防止を継続していくためには、手洗いと換気が最優先であった。その中で、各クラスにCO^2モニターを設置した。CO^2モニターの警告音が鳴ると、生徒会を中心に生徒達自身で、窓を開放し換気を行っていた。移動教室の場合、クラスの教室のドアを閉めるように生徒達から呼びかけをして節電に努めた。 ・美化委員会より、ゴミの分別、リサイクル、削減の呼びかけとともにポスターを掲示し全校生徒へ啓発活動を行った。 ・厚生委員会によるエコキャップ回収を毎月実施することができた。	【取組の評価】☐達成できた　☐ほぼ達成した　☑達成できなかった 【理由】 インフルエンザやコロナの感染防止を優先すると、節電・節水との両立は難しかった。 【今後の課題】 節電については、今自分たちができること（例えば使用していない場所「トイレ・廊下・教室・階段等」の対応等）を、生徒会を中心に考えていけるようにしたい。 【次年度への引継ぎ事項】 スクールエコアクションの取組を担当同士が連携して行っていく。
		2	蛇口をしっかり閉めるなど節水について呼びかける。	生徒会担当教諭 生徒会本部役員	全学年		
		3	文房具の使い切り等、物を大切に使うことを呼びかける。	生徒会担当教諭 生徒会本部役員	全学年		
捨てるごみを減らす活動	リサイクルに努め、廃棄物を削減する。	I	紙の使用量を抑えるため、印刷ミスや使用済みの紙を所定の場所に集めて再利用する。	総括事務主査 教頭	職員	・会議資料や連絡事項を電子データで行った。授業でもiPadを有効活用し、プリントの使用を減らしている。保護者宛のお知らせをCOCOOも利用し送信している。 ・制服リサイクルを秋に行い、盛況であった。 ・「赤羽根マーケット」の開催は、教員の資源ゴミの減少に大きく貢献している。	【取組の評価】☐達成できた　☑ほぼ達成した　☐達成できなかった 【理由】 ペーパレス化はかなり進んでいる。電子データの活用を広げたことによる。裏紙の使用が定着している。 【今後の課題】 電子データを活用する上での、活用法の検討。 【次年度への引継ぎ事項】 学校情報伝達方法やHPの組織的な活用法についての検討。
		2	卒業等で不要になる基準服等を利活用するため、リサイクル会を行う。	保護者会代表、教頭	保護者会		
		3	不要なものを持ち寄るスペースを作り、「赤羽根マーケット」と名付け常時開催している。	全職員	教職員		

（様式１）学校エコ活動シート

●写真等の記録：活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

ペットボトルキャップの回収ボックス

厚生委員会の啓発ポスター

厚生委員会、美化委員会の啓発ポスター

印刷室の古紙回収箱（サイズ別）

●**学校長（推進責任者）によるコメント**

【学校長名】

高橋 励

【今後の方向性について】

新型コロナウイルス感染症による制限が解除されるなか、SDGs に関する取組みが改めて求められるようになってきているなかで行うエコ活動は、環境保全に留まらない大きな教育的意味があると感じている。

本校で従来より取り組んできているエコキャップの回収や古紙回収は、日常的に当たり前のこととなっているが、それさえやっていればよいという思考停止につながっていないか、まずは指導にあたる職員集団が丁寧に振り返る必要性を感じている。

そのなかで、職員個人の発想と発信で立ち上がった「赤羽根マーケット」は、市でいう「転活」の発送で眠っている資源の掘り起こしや物理的な整理による収納場所の確保など、職員の働き方を変えていくうえでも効果が期待される取組みであると捉えている。

今後も、生徒や職員のニーズから立ち上がる取組みを丁寧に定着させていきたいと考えている。